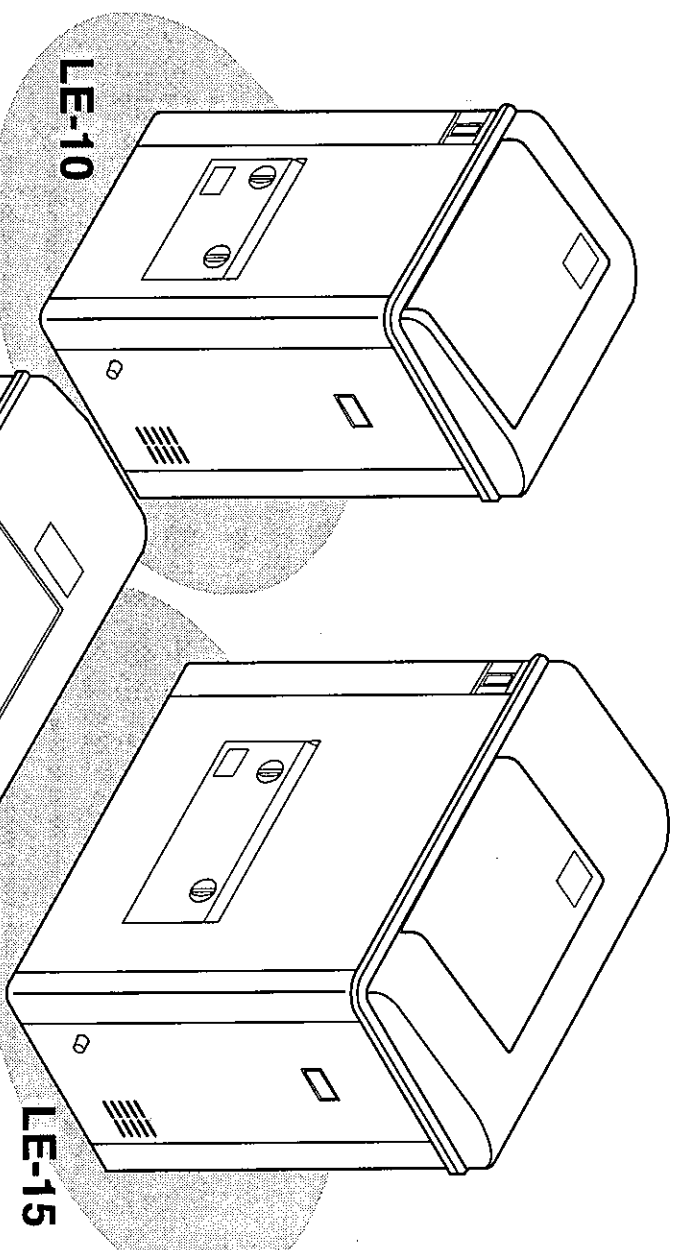


家庭用生ゴミ分解処理機

ecoloppo

エコロンポ LE-10・LE-15・LE-20

取扱説明書



静岡製機株式会社

連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記のところへ連絡してください。

購入先	
住所	
TEL	

静岡製機株式会社

本社	〒437-0042 静岡県袋井市山名町4-1	☎袋井 (0538) 42-3114	FAX (0538) 45-0316
札幌営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌 (011) 781-2234	FAX (011) 780-2273
秋田営業所	〒011-0951 秋田市土崎港相築町字浜ナシ山123-7-2	☎秋田 (018) 845-9467	FAX (018) 880-1781
仙台営業所	〒989-6135 宮城県古川市稲葉字亀ノ子50-1	☎古川 (0229) 23-7210	FAX (0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市焼ケ山1丁目5番30号	☎新潟 (025) 287-1110	FAX (025) 257-1197
関東支店	〒302-0017 茨城県取手市桑原字桑原1424-1	☎取手 (0297) 73-3530	FAX (0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2630	☎袋井 (0538) 43-2251	FAX (0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町10-1-1	☎金沢 (076) 249-6177	FAX (076) 240-9333
大阪営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪 (06) 6432-7890	FAX (06) 6434-2184
岡山営業所	〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12	☎岡山 (086) 244-4123	FAX (086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1332	☎久留米 (0942) 32-4495	FAX (0942) 31-7373
環境機器事業部	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2753-116	☎袋井 (0538) 45-1311	FAX (0538) 45-1315

53009--205001A
Y9909

保証書

このたびは静岡製機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

1.保証期間 納入日から起算して1年間です。

2.保証内容 この製品は万全の品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常な使用状態で故障した場合には、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該製品の取替え、又は、修理を無料で行います。

3.適用除外 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

- (1) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合
- (2) 弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合
- (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合
- (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合
- (5) 弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合
- (6) 故障判定資料の不十分なもの、及び損傷部品を紛失された場合
- (7) 消耗部品
- (8) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります
- (9) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後6年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

静岡製機株式会社

静岡県袋井市山名町4-1

1.お買い上げ製品 (機種名)

2.製造番号

3.年 月 日

4.据付者氏名

取扱先名

氏 名

はじめに

このたびは生ゴミ分解処理機【エコロンボ】をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は当製品を安全に、正しくご利用いただくためのガイドブックです。

この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解された上でご使用ください。また、必要に応じてご覧いただけます。

次に、製品の運転・点検確認などのお取扱において、ご注意ください箇所に貼付されています「危険表示ラベル」「警告表示ラベル」および「注意ラベル」や、取扱説明書に記載されています **注** マークについてご案内いたします。



「危険」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないと重大なケガ・事故につながる恐れがあり、最もご注意ください内容のものです。



「警告」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないとケガ・感電などの事故につながる恐れがあり、十分にご注意ください内容のものです。



「注意」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないと思わぬ事故につながる恐れがあり、ご注意ください内容のものです。

注

この製品の機能・性能を発揮するために、ご使用上お守りいただきたい内容のものです。



- この製品は、ご家庭の生ゴミを処理して堆肥にする目的で作られております。他の用途にはお使いにならないでください。
- 取扱説明書に記載されている以外の使い方をしないようにしてください。

当製品につきましてご不明な点がございましたら、ご購入先あるいは裏表紙に記載してあります弊社支店・営業所または本社環境機器事業部にお問い合わせください。

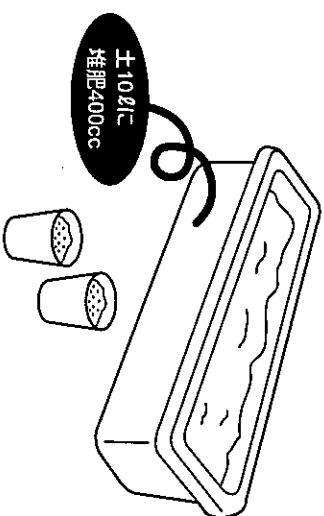
10. 堆肥の使い方

生ゴミ堆肥の特長

エコロンボでできた堆肥は生ゴミの成分によって異なりますが、一般的に窒素分が強く、葉もの（コマツナ・ほうれん草など）に適しています。ただし、取出し直後の堆肥は強すぎますので、たくさん施用すると植害がでることがあります。次の方法を参考にしてご使用ください。

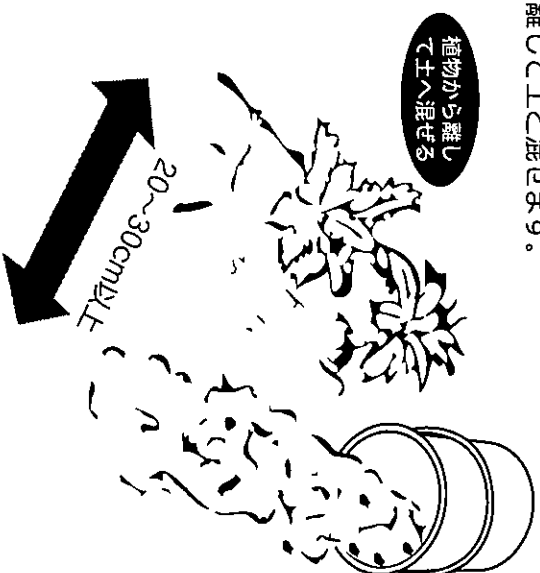
A. うすめて使用する

プランタなどへ用いる場合は、混ぜる量を土10ℓあたり400cc（コップ約2杯）程度にしてください。（ふつうのサイズのプランタは約10ℓの土が入ります。）生ゴミ堆肥は養分が強いので、やりすぎないように注意してください。



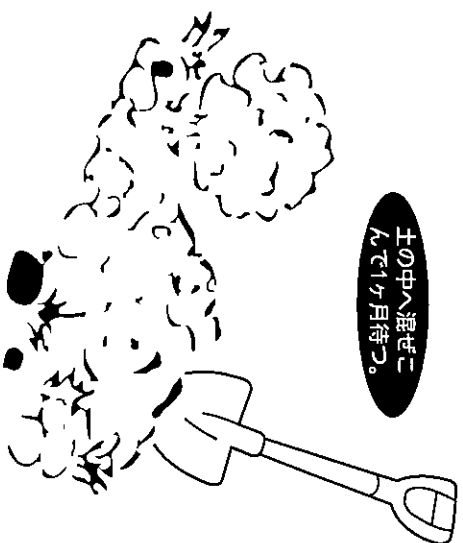
B. 植物の根から離して施用する

庭や畑へ施用する場合も、多く入れすぎないように注意してください。植物の根に直接触れないように、20～30cmほど離して土と混ぜます。



C. すぐには種まき・移植をしない

土の中へ混ぜこんでおいてそのまま完熟するのを待ちます。土と堆肥の成分によって異なりますが1ヶ月以上おいた方が安心です。土に混ぜる量は1㎡あたり10ℓくらいが目安です。



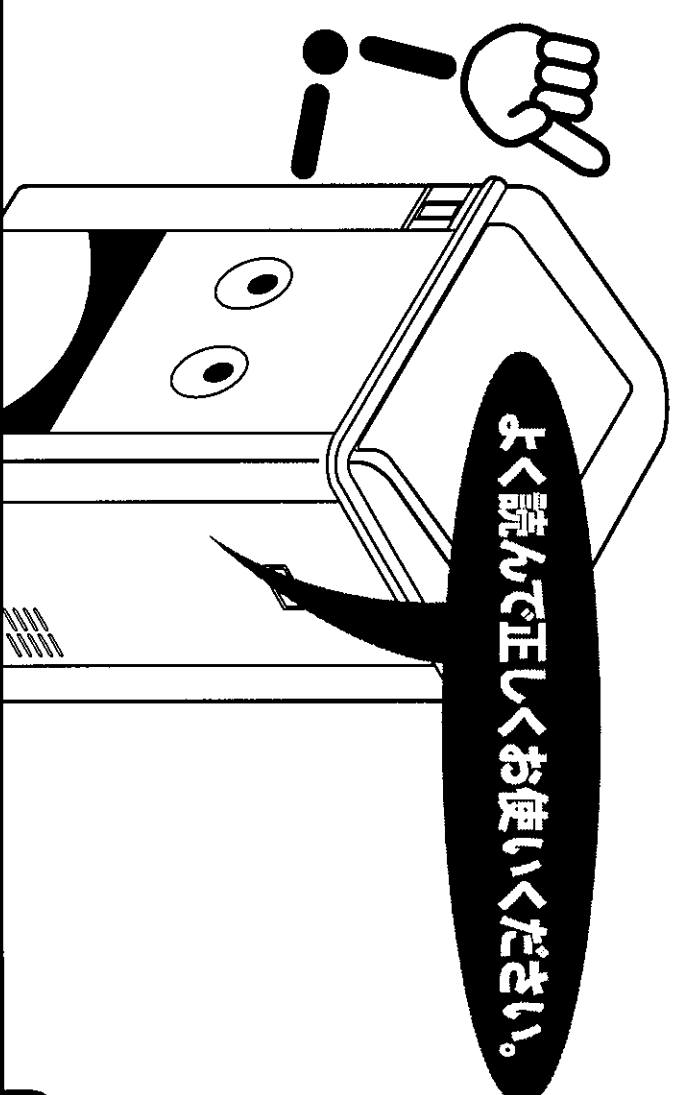
D. 施用前に熟成させてから施用する。

庭の隅などに積み上げて、上から土を覆いかぶせておき、ときどき切返して1～2ヶ月待ちます。



もくじ

はじめに.....	1
もくじ.....	2
1.仕様.....	3
2.各部の名前と構造.....	4
3.安全上の注意事項.....	5
4.警告表示ラベルの貼付位置と内容.....	6
5.据付時の注意事項.....	7
6.投入物の注意事項.....	8
7.ご使用の方法.....	9
8.堆肥の取出し方と製品のお手入れ.....	11
9.故障かな？と思われたら.....	12
10.堆肥の使い方.....	13
11.保証書.....	14



1.仕様

型式名	LE-10	LE-15	LE-20
標準(1日当り)	1.0kg	1.5kg	2.0kg
最大(1日当り)	1.5kg	2.0kg	2.5kg
1週間当り	7.0kg以内	10.5kg以内	14kg以内
奥行×全幅×全高(mm)	467×584×785	467×834×785	475×1117×794
重量(kg)	24	28	44
電源	単相100(50/60Hz)		
所要電力(W)	262/280	302/320	362/380
粉殻容量(L)	70	120	180
予備粉殻容量(L)	70	90	30
エコロンポ菌(g)	200		
脱臭剤(kg)	1		
攪拌回数	6時間毎に3分間		
攪拌モーター出力(W)	59/71		
加温ヒーター容量(W)	100	140	200
加温方式	シリコン線アルミ箔ヒータ		
余剰加温保護	サーモスタット20℃ off/10℃ on		
排気ファン入り力(W)	8/6	12/10	
排気ファン形式	軸流ファン		
モータ加熱保護	サーマルプロテクト120℃自動復帰		
ヒータ加熱保護	サーモスタット55℃ off/45℃ on 温度ヒューズ溶断温度77℃		
電源保護	温度ヒューズ5A		
攪拌羽根巻き込み防止	投入口フタスイッチ/排出口フタスイッチ		
使用环境温度(℃)	0~40		
粉殻セットコードNo	70ℓ×3袋 エコロンポ菌:200g×1袋 脱臭剤:1kg×1袋		
エコロンポ菌	エコロンポ菌:200g×1袋		
脱臭剤	脱臭剤:1kg×1袋		
寒冷地用ヒータ	LE-10・LE-15 コード No53009-050041 LE-20 コード No53007-050041		

標準付属品として粉殻セットが付いていますが、粉殻数が機種により異なります。
LE-10は70ℓ×2袋 LE-15・LE-20は70ℓ×3袋

9.故障かな?と思われたら

症状	原因	対処方法	参照ページ
1. 攪拌しない	電源が切れている	電源コンセント・スイッチを確認してください。	P9
	異物・大きな物・長い物が羽根にはさまった	堆肥の取り出し方に従って、異物、大きな物、長い物を取り除いてください。水切りネットも攪拌羽根をロックさせる原因になります。	P11
	内容物量が限界になった	堆肥の取り出し方を参照してください。	P11
	投入口フタスイッチが働かない	投入口フタまわりの溝の汚れを取り除いてください。	P10
	排出口フタスイッチが働かない	排出口を開いてスイッチ、ヒンジ部分の異物を取り除いてください。	P11
2. 悪臭がする	吸気口、排気口がふさがれている	LE-10・LE15は本体左右側面の吸・排気口、LE-20は本体向かって左側面と左底面の排気口をふさいでいる物を取り除いてください。	P7
	排気ファンがロックしている	コンセントを抜いてから、ファンのまわりに付着している物を取り除いてください。	P10
	発酵が急激に盛んになった	使用し始めて条件が整うと急激に発酵が始まる場合があります。数日間で臭いはおさまりますが、気になる場合は、粉殻を約10リットル追加してください。(バケツ一杯程度)	P10
	粉殻の水分が高くなり固まりだした	粉殻を10リットル追加してください。	P10
	1日当たりの標準投入量を超えている	1週間の投入量を守ってください。 粉殻10リットル追加してください。	P10
	魚のあら、ご飯等が大量に投入された	魚のあら、ご飯、米ヌカなどを大量に入れないでください。粉殻10リットル追加してください。	P10
	排水パイプが詰まっている	割り箸のような棒を排水パイプにさして、詰まっているものを取り除いてください。	P11
	粉殻が細かくなり通気効果がなくなっている(ダンゴ状態)	堆肥の取り出し方に従って粉殻を交換してください。	P11
3. 虫が寄りつく	装置に生ゴミの汁がついている	汁等汚れを取り除いてください。	P11
	排気口より弱い臭いが発生している	有害物質を全く添加しておりませんので多少の臭いは寄りつきます。気になる場合は市販の殺虫剤を噴霧してください。	

このほか電氣的・機械的故障があった場合は購入先にご連絡ください。

8. 堆肥の取り出し方と製品のお手入れ

内容物が上限まで増えた場合は堆肥を取り出ししてください。
少なくとも6ヶ月以内に一度排出してください。

排出作業手順

警告 ●排出作業をする時は安全のために手袋をして行ってください。

- ① 電源スイッチをOFFにします。
- ② 電源コードをコンセントから抜きます。
- ③ 排出ロフタの前に堆肥受けのシート、もしくはプラントナーのような容器を置きます。
- ④ LE-10・LE-15は排出レバーを内側に回し、LE-20は排出ロフタネジを回して、排出ロフタを手前に開きます。
- ⑤ シヤベル等で堆肥をかき出します。
- 底に1~2cm程度残っていても構いませんが、内部の固まりは**ほぐしておいてください**。

注 排出ロフタスイッチ（2ヶ所）に硬い物を当てないように注意してください。

- ⑥ 排出した物は堆肥として使用してください。
- ⑦ 排出した後は排出ロフタの汚れをホウキなどで取り除いて、排出ロフタを閉めます。
- ⑧ 本体のお手入れ

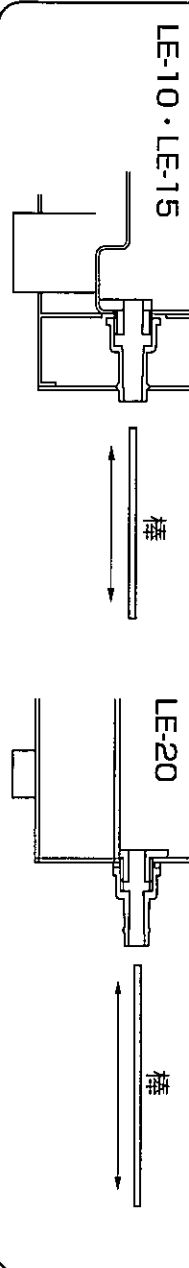
- 投入ロフタまわりの溝の汚れを取り除いてください。
- 本体が汚れた場合は、柔らかい布を使い中性洗剤などでふき取ってください。
- 内容物が湿っていても排水が出ない場合は、割り箸のような棒を排水パイプにさして、詰まっているものを取り除いてください。

注 ヒンジ部分、排出ロフタスイッチ部分に内容物が残っていると、フタが閉まらなくなることがあります。

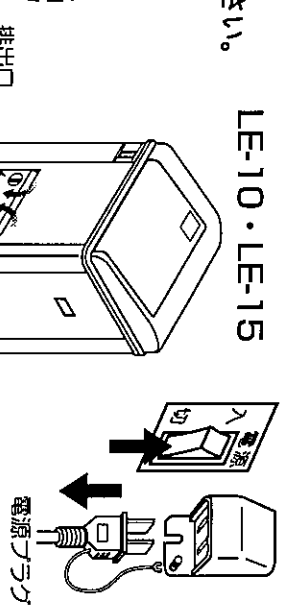
再セット手順

- ① 攪拌羽根が半分隠れるまで投入ロフタから粗殻を投入します。
- お手持ちの粗殻でも使用できます。
- 粗殻が手に入らない場合は、粗殻セットをご購入願います。
- ② 種菌として排出した堆肥を約10g投入ロフタより戻します。
- 戻す種菌がない場合は粗殻セットを購入し、エコロンポウと脱臭剤を追加してください。

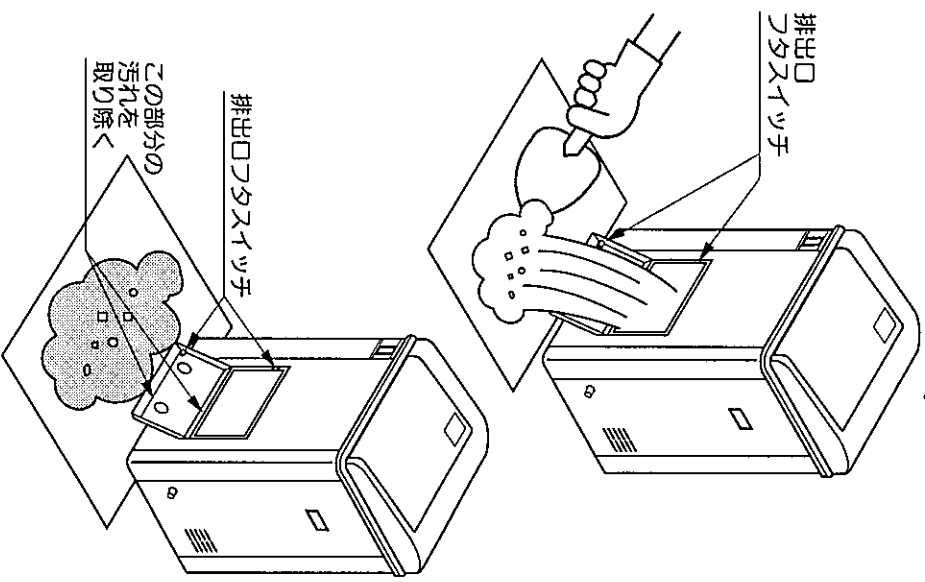
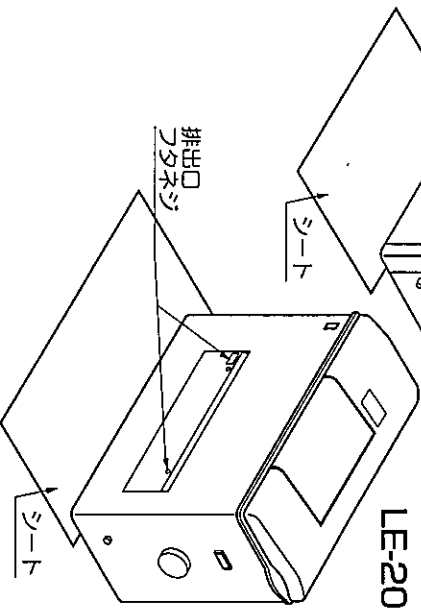
排水パイプ掃除方法



LE-10・LE-15

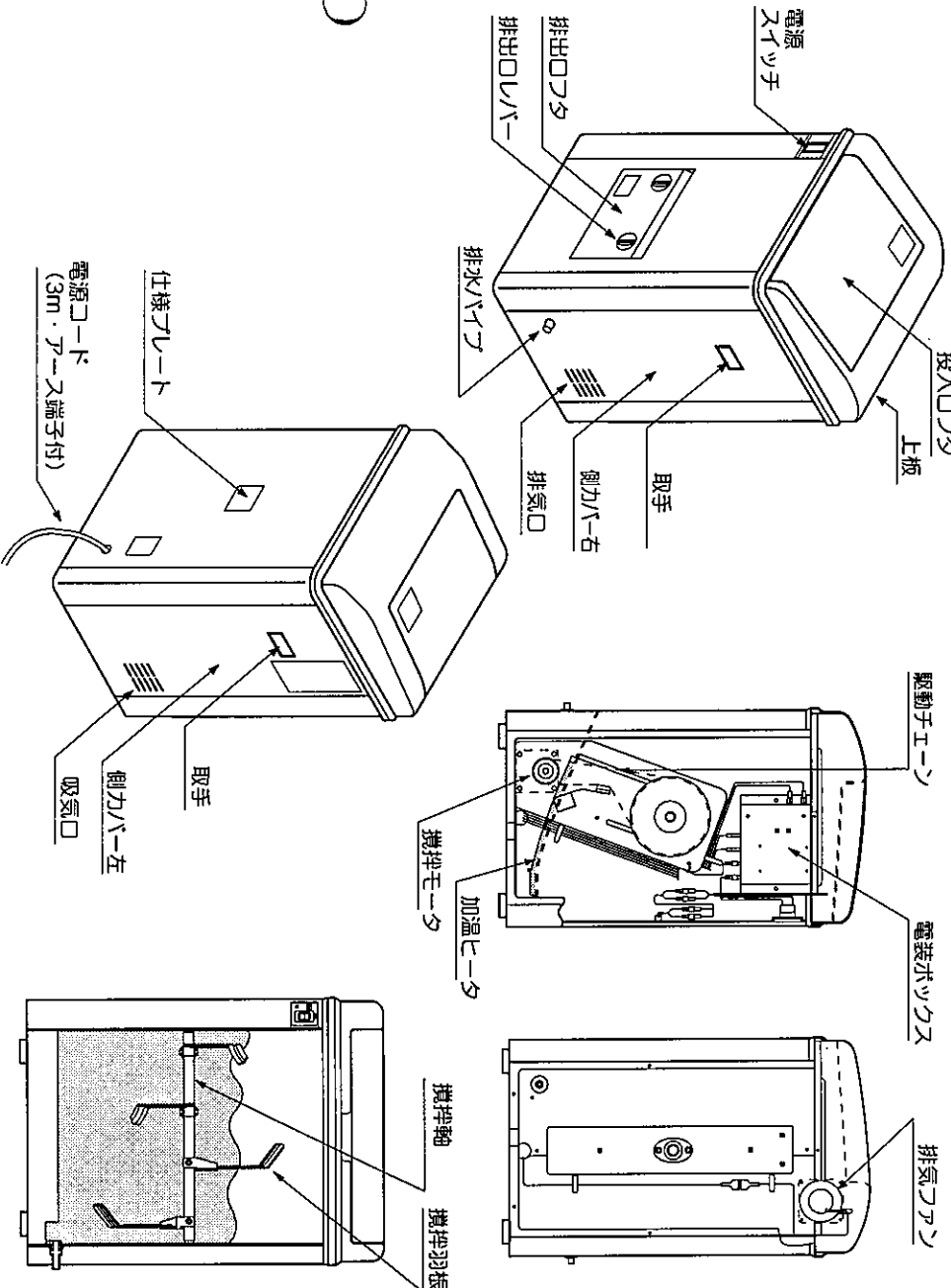


LE-20

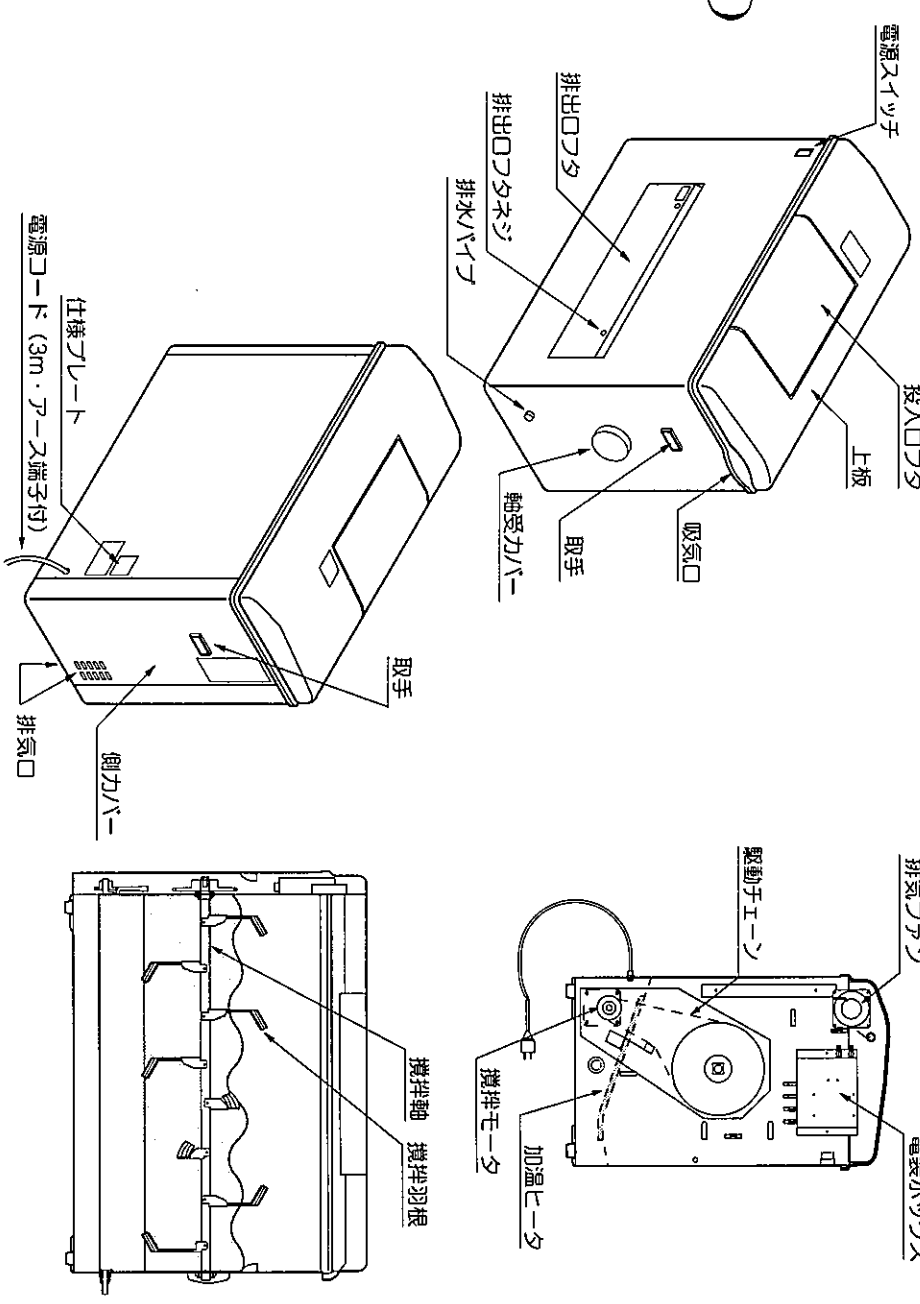


LE-10・LE-15

2. 各部の名前と構造



LE-20

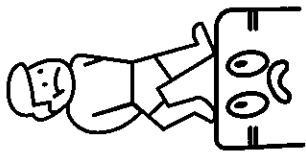


3.安全上の注意事項

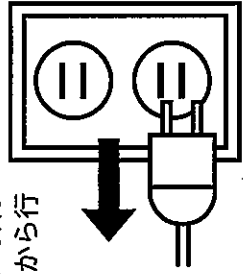
安全にお使いいただくために、注意事項を守ってください。

危険

- 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

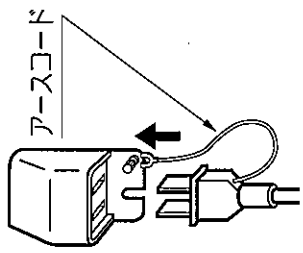


- 製品内部の点検・掃除は電源を切ってから行ってください。

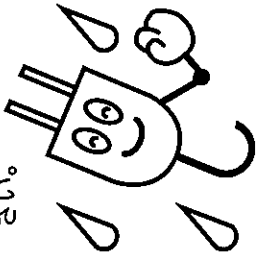


警告

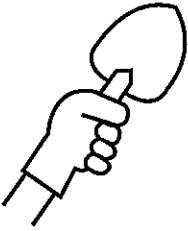
- 必ずアースコードを接続してください。



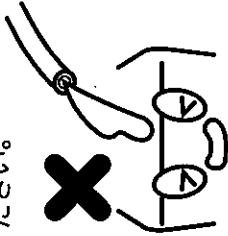
- 屋外の電源コンセントをご使用の場合は、防雨形を使用してください。



- 排出作業等、装置内に手を入れるときは手袋をして、シャベル等を使って行ってください。



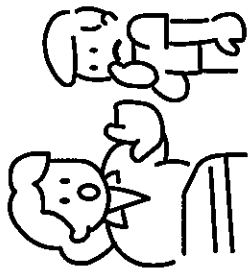
- 本体にホースやバケツで直接水をかけないでください。



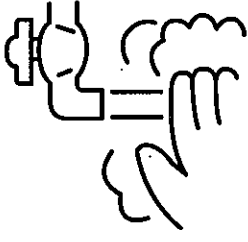
- 装置内部に注水しないでください。

注意

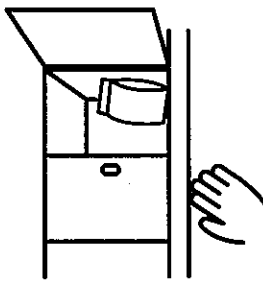
- 小さなお子様にはさわらせないようにしてください。



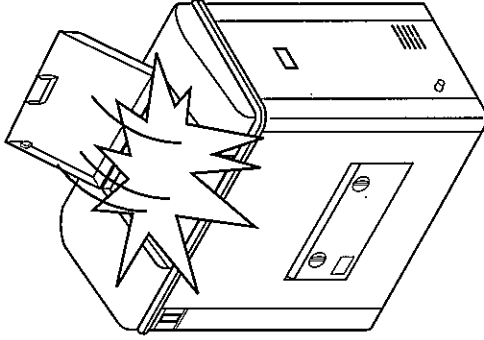
- エコロンが菌や堆肥が手についた時は、石鹸できれいに洗ってください。



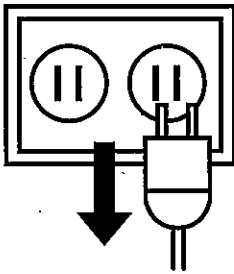
- エコロンが菌は食べられません。お子様の手の届かない所へ保管してください。



- 投入口フタを閉めるとき手をはさまないようにご注意ください。

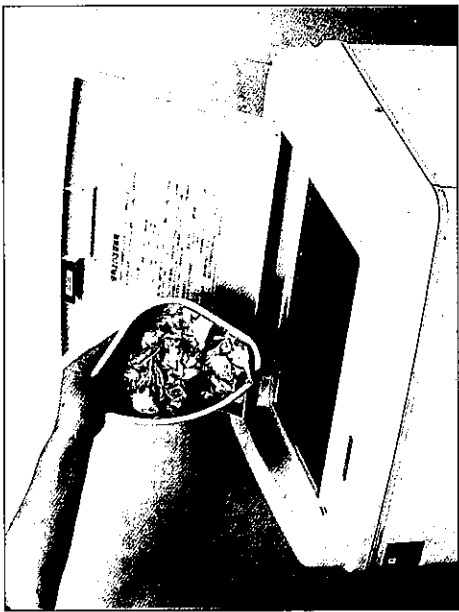


- 左右の側カバーを外すときは、電源コードを抜いてから行ってください。



使い方

- 生ゴミを投入して投入口フタを閉めます。
- 6時間毎に3分間自動的に攪拌します。



注

投入量は	標準(1日当り)	最大(1日当り)	1週間
LE-10	1kg	1.5kg	7kg以内
LE-15	1.5kg	2.0kg	10.5kg以内
LE-20	2.0kg	2.5kg	14.0kg以内

投入口フタのまわりの溝に生ゴミが乗らないように注意してください。溝にゴミが乗りましたら、きれいに掃除してください。

後は毎日投入口フタを開け生ゴミを投入して、フタを閉めるだけです。

粕殻の追加のタイミング

- 投入口フタを開けて中をのぞいた時、攪拌軸が見える状態であれば、粕殻を攪拌羽根が半分隠れるまで投入してください。**A**
- また内容物が固まりました、ベトついてきた、臭いが発生した場合は粕殻約10ℓ(バケツ一杯程度)を追加してください。
- 目安として1ヶ月に10ℓ程度です。(投入量、投入物の種類によって異なります。)

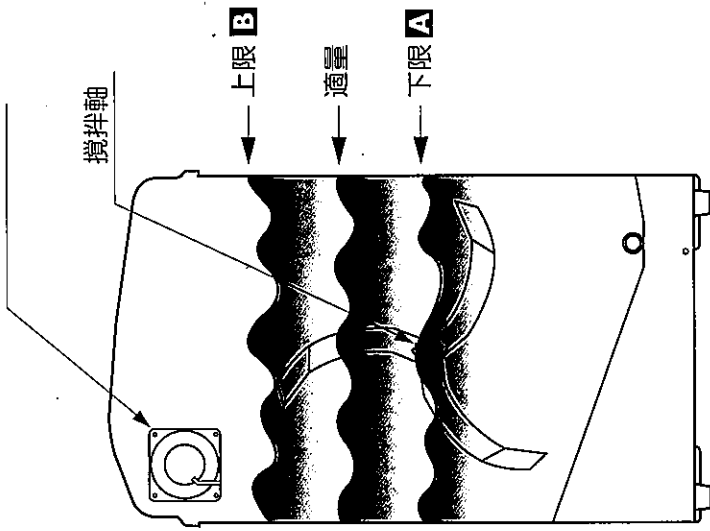
排出のタイミング

- 内部の量が上限を超えたときや、(右図参照)四隅が固まり出したら全量を排出して、新しい粕殻に交換してください。**B**
- 少なくとも6ヶ月に一度は排出してください。「8.堆肥の取り出し方」を参照してください。
- 長期間排出しないと、攪拌羽根が変形したり、軸が破損したりすることがあります。

【フタのロックに注意】

投入口フタを開けて向かって右側上部(LE20は左側上部)に排気ファンがついています。これに粕殻の破片等が噛み込むと排気ファンがロックすることがあります。この場合は一旦電源を切りプロペラに付着したゴミを取り除いて、再度電源を入れ投入してください。

排気ファン



5. 据付時の注意事項



転落や落下によりケガをすることがありますので

- 投入口フタの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。



感電するおそれがありますので

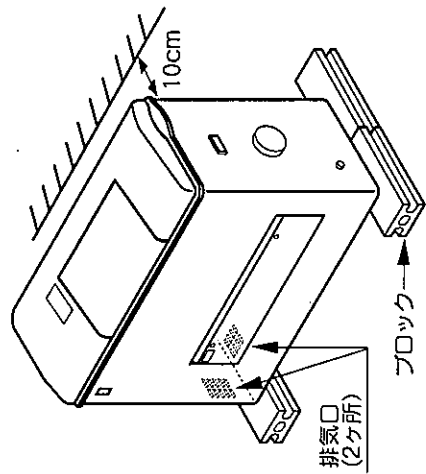
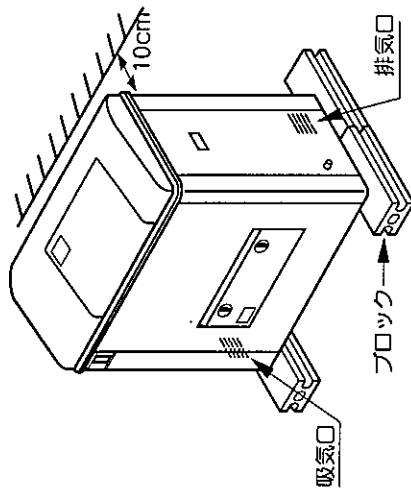
- かならずアースコードを接続してください。
- 屋外の電源コンセントを使用される場合は、防雨形を使用してください。



● 小さなお子様にはさわらさないようにご注意ください。

① ぐらつかないよう平らな場所に装置を設置してください。

- 下が地面の場合はブロック等の上に据え付けます。
- 本体の後は、投入口フタの開閉に支障がないように、10cm以上離してください。
- 湿気や湿度の高いところへの設置は避けてください。部品の故障や性能が低下する原因になります。
- 排気がこもらないように、風通しのよい所へ設置してください。臭い発生の原因になります。
- 室内・ベランダではご使用できません。



- 注 ● 吸、排気口をふさがないようご注意ください。吸、排気口をふさがずと悪臭発生の原因になります。

② 排水方法

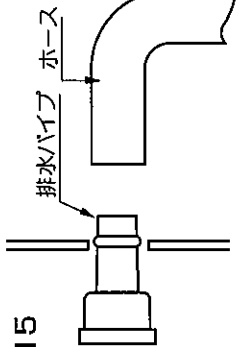
投入量が多い場合もしくは外気温度が低い場合は、余分な水が流れ出ることがあります。

処理方法

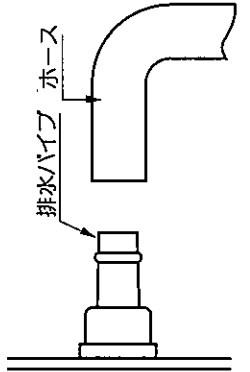
- その場で排水できない場合は、市販のホースを取り付けてください。

排水ホース 内径15mm

LE-10・LE-15



LE-20



6. 投入物の注意事項

投入してよいもの (処理できるもの)



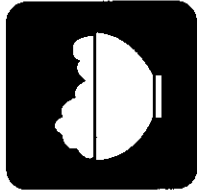
野菜の屑



魚



果物の屑



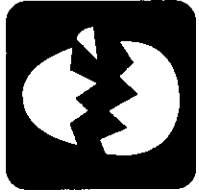
殺菌類



肉



魚の骨
小さな肉の骨



卵の殻
(細かくなるだけで分解はしない)

注 ● 生ゴミの処理能力を表に示します。定められた量以上は投入しないでください。

機種	標準1日	最大1日	1週間	目安
LE-10	1kg	1.5kg	7kg以内	三角コーナー1~1.5杯
LE-15	1.5kg	2kg	10.5kg以内	三角コーナー1.5~2杯
LE-20	2kg	2.5kg	14kg以内	三角コーナー2~3杯

● 「長いもの」や「大きなかたまり」は、なるべく小さくして入れてください。湿ざりにくく分解が速くなります。また故障の原因にもなります。キャベツなら8分の1、長ネギなら10cmくらいが目安です。

● 生ゴミはなるべく水気を切ってから入れてください。水分が多すぎると発酵に支障がでることがあります。

● 魚のあら、米ぬか、米飯など、特定の物を大量に入れますと臭い発生の原因になります。特定の物を大量に入れることはさけてください。

投入してはいけないもの (処理できないもの)



金属類
(スプーン・フォーク・空缶・王冠類)



プラスチック類
(プラスチックトレイ・包装容器・ビニール袋等)



油類
(菜籽油・マヨネーズ・ラード類)



木質類
(割箸・竹・木屑等)



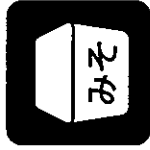
紙類
(新聞紙・ティッシュペーパー・包装紙等)



有機溶剤、石油化学製品
(ガソリン・灯油等)



ガラス・陶器・石
(空き瓶・食器等)



塩分の強いもの
(醤油・味噌・ソース・ぬかみそ・佃煮等)



大量の香料類
(唐辛子・からし・胡椒等)



貝類



化学薬品



タバコの吸殻
その他、微生物の働きを阻害する恐れのあるもの。